

文学部 ディプロマ・ポリシー

■ 文学部

1. 人間社会の基本となる「ことば」の学習を通じて、文化、文学、コミュニケーション、心理学、国際関係に関する専門的知識を身につけている。
2. 様々な情報源から問題の本質を見抜く洞察力、自分の考えを論理的に組み立てる論証力、情報を他者にわかりやすく伝える発信力を身につけている。

■ 英文学科

リಂಗフランカとしての英語とその背景にある文化や歴史に対する知識を教授するとともに、高度な英語運用能力及び自文化や他文化に対する深い理解力を養成し、国際社会において求められる柔軟な対応力とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的とする。

本学科では、規定の在学期間を満たし、教育課程に基づいて所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた者に「学士（英文学）」の学位を授与する。

（１）知識・技能

DP1. 英語という言葉の構造、運用、及びコミュニケーションに関する体系的な知識を習得し、社会的文脈に応じて適切に運用する能力を身につけている。（英語力/専門的知識）

（２）思考力・判断力・表現力

DP2. 英語文献や英語圏の文化資料を的確に読み解き、得られた情報を論理的に分析・解釈し、自らの意見や考察を的確に言語化することができる。（論理的思考力）

DP3. 国際的な諸問題が生起する背景を理解し、課題に対して多角的に分析し判断する能力を備えている。（多角的分析力）

（３）主体性・多様性・協働性

DP4. 地域・国際社会において、多様な言語・文化背景を持つ他者と関係構築し、主体的に問題解決していくための異文化コミュニケーション能力を備えている。（問題解決力）

(4) 創造性・探究性・批判的思考力

DP5. 英語圏やその他地域の文学・文化・言語に関する複眼的視野をもとに、自らの問いを立て、独創的かつ批判的に探究・思考する力を有している。(独創的探究力)

■ 心理・応用コミュニケーション学科

心理・応用コミュニケーション学科は、心理・行動科学、地域国際・メディアの2分野の専門的及び学際的研究を通して、コミュニケーションに関する認識を深め、社会性と人間性を探究することを理念とする。また、コミュニケーションの研究に立脚しながら、国際的な視野を持って社会に貢献できる個性的で創造性豊かな人材の育成を目標とする。

本学科では、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す資質・能力を備えた者に、学位[(学士 心理・応用コミュニケーション学)]を授与する。

(1) 知識・理解

DP1. 心理学を基礎に、社会学や教育学などのさまざまな人間科学・社会科学的な知識や研究方法を学ぶことを通じて、幅広い視野で思考できる能力を習得している。(多角的思考力)

(2) 汎用的技能

DP2. 自らの思考・判断のプロセスを内省して他者に伝えるとともに、他者の思考を尊重して協働することのできるコミュニケーション力を習得している。(共感的コミュニケーション力)

DP3. 現場実践やフィールドワークなどによって現場のリアリティを探究し、メディアを活用しデータを重視して論理的に思考することで、社会の要請に応える新たな考えや物事を創造できる能力を身につけている。(創造的实践力)

(3) 態度・志向性

DP4. 地域社会や国際社会において「問い」や課題を設定し、その答えを見つけ、解決に導くために主体的に行動・実践する能力を身につけている。(主体的社会参画力)